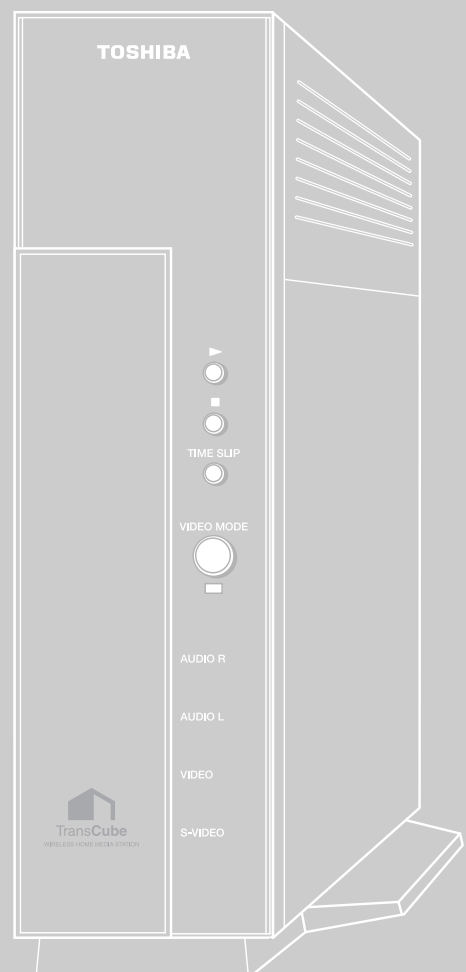


テレビ番組を録画する

ワンタッチ録画	38
クイックタイマー録画 (録画時間 / 予約録画時間の延長 / 短縮)	41
録画画質の選択	43
録画済みタイトルの削除	45
タイトルの保護 / 保護解除	48
ビデオテープにダビングする	50



ワンタッチ録画

ワンタッチ録画を行う

【録画】ボタンを押すだけで録画が開始できるのがワンタッチ録画です。ビデオテープのように録画位置の頭出しや空きテープを用意する必要がありません。



1 テレビを見ているときに、【録画】ボタンを押す

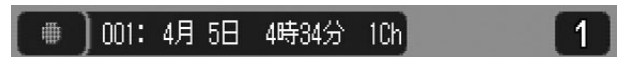


リモコン



本体

- ▶ 見ている番組の録画が開始されます。
- ▶ テレビ画面には、録画を開始したマークが表示されます。



- ▶ 本体表示窓には、[REC] と表示されます。また、録画画質モードに応じて、「LP」(長時間)「SP」(標準)「HQ」(高画質)と表示されます。



2 ワンタッチ録画を停止するには、【停止】ボタンを押す



停止

リモコン



本体

- ▶ 何も操作をしない場合、録画動作は12時間続きます。

注意

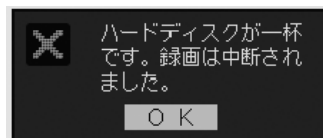
本機は電源を入れてから録画できる状態になるまで90秒ほどがかかります。番組開始と同時に電源を入れた場合、番組冒頭の録画に間に合わない場合があります。

注意

・録画できる時間は、1回の録画につき最長12時間です。これを超えると、録画が自動的に停止します。

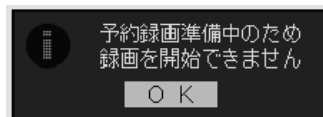
注意

録画中にハードディスクの残り容量がなくなったときは右のようなメッセージが表示され、録画は中断されます。[決定] ボタンを押してメッセージを閉じてください。



注意

予約した録画の実行時間が近づいているときに[録画] ボタンを押すと、右のようなメッセージが表示され、録画はできません。[決定] ボタンを押してメッセージを閉じてください。



ワンポイント

外部入力からの映像を録画するときは、録画を開始する前に、[チャンネル] ボタンまたはリモコンの[入力切替] ボタンで、[入力1] または [入力2] に切り替えます。

ワンポイント

録画可能なタイトル数と、各画質モードでの録画時間の目安は、次のようになります。

- ・録画可能タイトル数 : 100 タイトル
- ・1 タイトルの最大録画時間 : 12 時間
- ・長時間録画での合計録画時間(約2Mbps) : 72 時間
- ・標準録画での合計録画時間(約4Mbps) : 36 時間
- ・高画質録画での合計録画時間(約6Mbps) : 24 時間

録画時間はあくまでも目安です。正確にこの時間まで録画できるとは限りませんのでご注意ください。
ビットレート表示は目安です。正確な値ではありません。

はじめに

テレビ放送を見る

録画済みのタイトルを再生する

テレビ番組を録画する

LANの設定

ルータの設定

録画情報を表示する

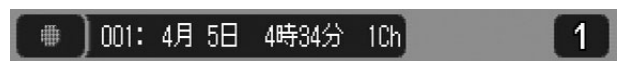
録画を実行中に[表示]ボタンを押すと、録画情報を表示できます。また、[表示]ボタンを押すたびに表示する情報を変更できます。



1 録画中に[表示]ボタンを押す



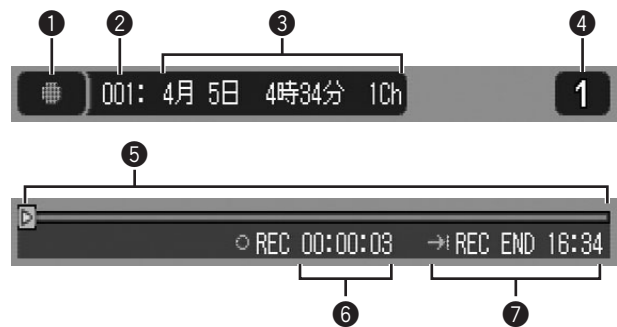
▶ [表示] ボタンを押すと、5秒の間、録画を示すメッセージが表示されます。



2 もう一度[表示]ボタンを押す



▶ 録画情報表示中に、続けてもう一度[表示]ボタンを押すと、録画情報を常時表示します。録画状態を示す情報も表示されます。さらに[表示]ボタンを押すと、録画情報は表示されなくなります。



- | | |
|---------|------------|
| ① 録画マーク | ⑤ タイムバー |
| ② 録画番号 | ⑥ 録画時間 |
| ③ タイトル名 | ⑦ 録画終了予定時刻 |
| ④ チャンネル | |

3 [表示] ボタンを押すと、録画情報が消える



ワンポイント

「常時表示」に設定されている場合でも、約15分間操作がない場合は自動的に「5秒表示」に切り替わります。

クイックタイマー録画(録画時間 / 予約録画時間の延長 / 短縮)

録画を開始してから[録画延長+] [録画延長-] ボタンを利用すると、録画の終了時間を調整できます。予約録画の実行時にも同じ操作ができます。



1 録画中に、[録画延長+] ボタンを押す



▶ 録画終了時刻が、5分以上後で最も近い100分または30分まで延長されます。

例：18時15分に[録画延長+] 18時30分が録画終了時刻となる。

▶ テレビには録画時間を30分延長するメッセージ(+30)および、録画終了時刻が表示されます。



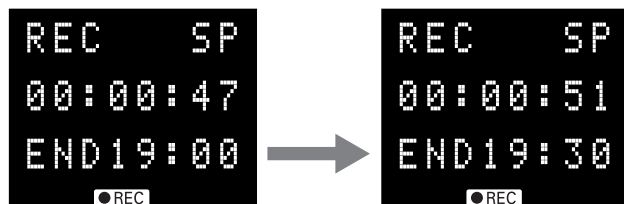
▶ 本体表示窓には、「END18:30」のように録画終了時刻が表示されます。



2 さらに[録画延長+] ボタンを押す



▶ [録画延長+] ボタンを押すたびに、30分ずつ録画時間が延長されます。



はじめに

テレビ放送を見る

録画済みのタイトルを再生する

テレビ番組を録画する

LANの設定

ルータの設定

3 [録画延長 -] ボタンを押す



- ▶ 録画時間が30分短縮されます。
- ▶ テレビには録画時間を30分短縮するメッセージ(-30)と、録画終了時刻が表示されます。

-30 REC END 19:30

- ▶ 本体の表示窓にも、録画終了時刻が表示されます。

REC SP
00:01:09
END 19:30 ← 録画終了時刻
●REC

4 さらに[録画延長 -] ボタンを押す



- ▶ [録画延長 -] ボタンを押すたびに、30分ずつ録画時間が短縮されます。

-30 REC END 19:00 → -30 REC END 18:30

REC SP
00:01:13 → 00:01:17
END 19:00 → END 18:30
●REC

注意

ワンタッチ録画終了時刻と予約した録画の開始時刻が重なる場合、[録画延長+]ボタンで延長可能な最長の時刻は、予約した録画の開始40秒前までとなります。

ワンポイント

- ・ワンタッチ録画開始直後に[録画延長-]ボタンを押しても、録画時間は短縮されません。最低でも2回は[録画延長+]ボタンを押してから操作してください。
- ・ワンタッチ録画開始後、[録画延長+]ボタンを押すまでの間は、録画時間は12時間に設定されています。最初に[録画延長+]ボタンを押したときに、録画終了時刻は、5分以上後で最も近い00分または30分に設定されます。

録画画質の選択

録画操作を行う前に、画質の設定を行うことができます。一度設定した画質が維持されるので、毎回実行する必要はありません。必要に応じて設定変更してください。



1 テレビを見ているときに、[表示] ボタンを押して情報の表示が可能なモードにする

▶ すでにチャンネル情報がテレビに表示されている場合は、この操作は必要ありません。



2 [画質] ボタンを押す

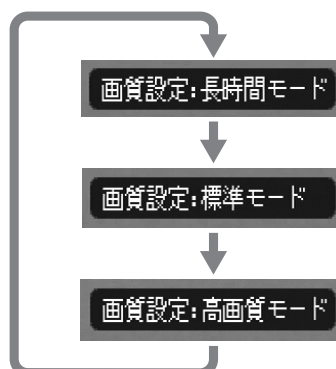


▶ テレビ画面には、設定される画質とハードディスクの空き容量が表示されます。

3 [画質] ボタンを繰り返し押す



▶ [画質] ボタンを押すごとに、次のように画質が変わります。ボタンを押すと同時に、表示されている画質でTransCubeが設定されます。



- ・長時間（約 2 Mbps）：TransCube のハードディスク使用量が最も少ないモードです。
- ・標準（約 4 Mbps）：標準的な画質の録画モードです。長時間より高画質な録画モードです。
- ・高画質（約 6 Mbps）：最も高画質な録画モードです。ただし、TransCube のハードディスク使用量も最も多くなります。

注意

画質モード変更時に、映像と音声が一瞬乱れることがあります。

ワンポイント

各画質による録画時間は、次のようになります。

- ・長時間録画での合計録画時間（約 2 Mbps）：72 時間
- ・標準録画での合計録画時間（約 4 Mbps）：36 時間
- ・高画質録画での合計録画時間（約 6 Mbps）：24 時間

録画時間はあくまでも目安です。正確にこの時間まで録画できるとは限りませんのでご注意ください。
ビットレート表示は目安です。正確な値ではありません。

ワンポイント

- ・録画中や再生中は、画質モードの変更ができません。
- ・パソコンのLIVE MEDIA TV から画質設定を変更することができます。リモコンで設定したものが変更されている場合もありますので、リモコン操作で録画する前には、録画画質を確認されることをお勧めします。

録画済みタイトルの削除

不要な録画済みタイトルを削除できます。



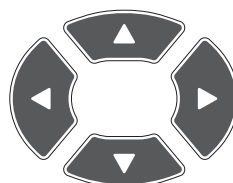
1 テレビを見ているときに、[ライブラリ] ボタンを押して、録画したタイトルの一覧を表示する



ライブラリ リモコン

TransCube ALBUM					1 / 2
CH	録画日時	タイトル			
3	02/04/05 17:46	4月 5日 17時46分	3Ch		
L2	02/04/05 17:39	4月 5日 17時39分	L2		
L2	02/04/05 17:20	4月 5日 17時20分	L2		
1	02/04/05 17:13	4月 5日 17時13分	1Ch	🔒	
12	02/04/05 17:01	4月 5日 17時01分	12Ch		
4	02/04/05 16:58	4月 5日 16時58分	4Ch		
4	02/04/05 16:56	4月 5日 16時56分	4Ch		
8	02/04/05 16:55	4月 5日 16時55分	8Ch		
前頁 項目選択 再生 ●ロック/ロック解除 次頁					

2 方向キーを押して、削除したいタイトルを選択する



リモコン



TransCube ALBUM					1 / 2
CH	録画日時	タイトル			
3	02/04/05 17:46	4月 5日 17時46分	3Ch		
L2	02/04/05 17:39	4月 5日 17時39分	L2		
L2	02/04/05 17:20	4月 5日 17時20分	L2		
1	02/04/05 17:13	4月 5日 17時13分	1Ch	🔒	
12	02/04/05 17:01	4月 5日 17時01分	12Ch		
4	02/04/05 16:58	4月 5日 16時58分	4Ch		
4	02/04/05 16:56	4月 5日 16時56分	4Ch		
8	02/04/05 16:55	4月 5日 16時55分	8Ch		
前頁 項目選択 再生 ●ロック/ロック解除 次頁					

はじめに

テレビ放送を見る

録画済みのタイトルを再生する

テレビ番組を録画する

LANの設定

ルータの設定

3

[削除] ボタンを押す

削除



リモコン

- ▶ タイトル削除の確認メッセージが表示されます。
- ▶ [[はい]] を選択すると、録画したタイトルは削除されます。
- ▶ [[いいえ]] を選択すると削除を中止します。



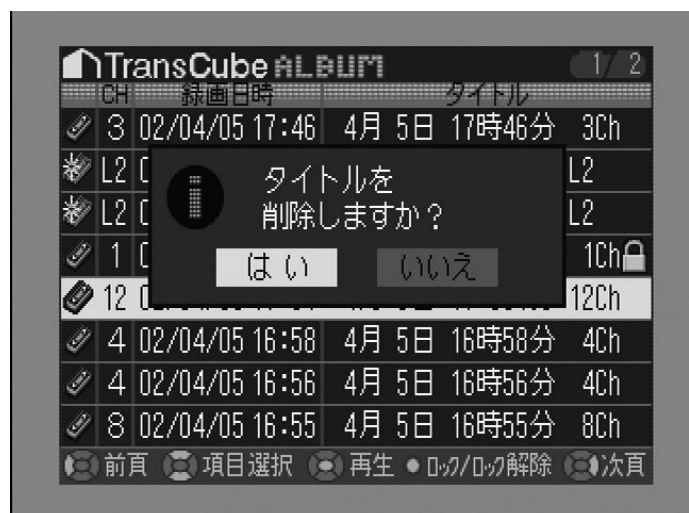
4

方向キーの[◀] ボタンを押す



リモコン

- ▶ 選択カーソルが[[はい]] に移動します。



5 [決定] ボタンを押す

決定

リモコン

6 タイトルが削除される



注意

- 一度削除したタイトルは復元できません。
- 録画中はタイトルを削除できません。

注意

リモコン / 本体からの操作時、タイトル一覧に表示されるのはTransCubeに保存されているタイトルだけです。パソコンに保存されているタイトルは表示されません。

注意

長時間録画したタイトルを削除する際は、ハードディスクに実際に空き領域ができるまで、多少の時間がかかります。削除直後に録画を開始する際は、リモコンの【画質】ボタンを押して、十分な空き容量があることを確認してください。

ワンポイント

タイトル名の右端にアイコン  が表示されているタイトルは削除できません。

タイトルの保護 / 保護解除

録画したタイトルを、誤って削除しないように保護できます。



1

テレビを見ているときに、[ライブラリ] ボタンを押して、録画したタイトルの一覧を表示する

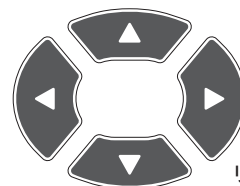


ライブラリ リモコン

TransCube ALBUM					1 / 2
CH	録画日時	タイトル			
3	02/04/05 17:46	4月 5日 17時46分	3Ch		
L2	02/04/05 17:39	4月 5日 17時39分	L2		
L2	02/04/05 17:20	4月 5日 17時20分	L2		
1	02/04/05 17:13	4月 5日 17時13分	1Ch		
12	02/04/05 17:01	4月 5日 17時01分	12Ch		
4	02/04/05 16:58	4月 5日 16時58分	4Ch		
4	02/04/05 16:56	4月 5日 16時56分	4Ch		
8	02/04/05 16:55	4月 5日 16時55分	8Ch		
前頁 項目選択 再生 ロック/ロック解除 次頁					

2

方向キーを押して、保護したいタイトルを選択する



リモコン

TransCube ALBUM					1 / 2
CH	録画日時	タイトル			
3	02/04/05 17:46	4月 5日 17時46分	3Ch		
L2	02/04/05 17:39	4月 5日 17時39分	L2		
L2	02/04/05 17:20	4月 5日 17時20分	L2		
1	02/04/05 17:13	4月 5日 17時13分	1Ch		
12	02/04/05 17:01	4月 5日 17時01分	12Ch		
4	02/04/05 16:58	4月 5日 16時58分	4Ch		
4	02/04/05 16:56	4月 5日 16時56分	4Ch		
8	02/04/05 16:55	4月 5日 16時55分	8Ch		
前頁 項目選択 再生 ロック/ロック解除 次頁					

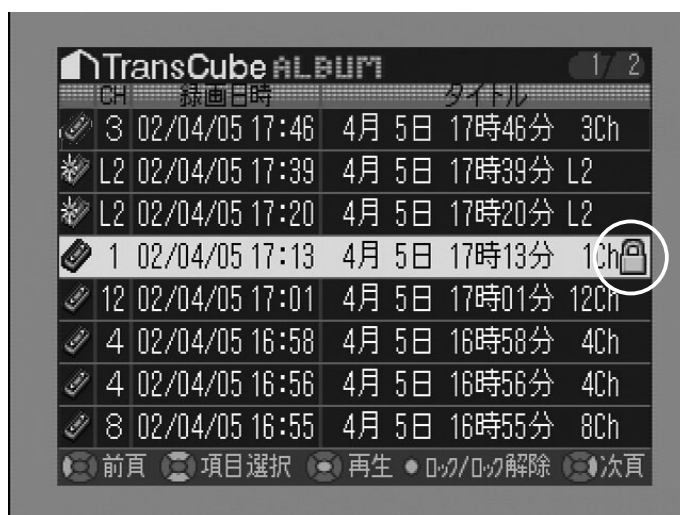
3

[保護] ボタンを押すと、タイトルが保護される



▶ 選択したタイトルが保護されると、一覧に鍵のアイコンが表示されます。

▶ 保護されたタイトルは削除できなくなります。



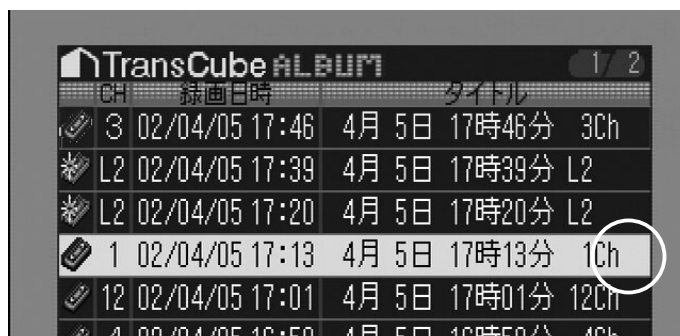
4

もう一度 [保護] ボタンを押すと、タイトルの保護が解除される



▶ 一覧の鍵のアイコンが消えます。

▶ アイコンが消えたタイトルは削除できるようになります。



注意

録画中のタイトルの保護 / 保護解除はできません。

ビデオテープにダビングする

TransCube に録画したタイトルを、ビデオテープにダビングして保管しておくことができます。



1 TransCube 本体背面の外部出力端子とビデオデッキの入力端子とを接続する

▶ 接続方法は「クイックスタートマニュアル」32ページをご参照ください。

2 ビデオデッキの入力モードをライン入力に変更する

▶ ビデオデッキの入力切り替えを操作し、TransCube からの映像を入力できるモードに切り替えておきます。

▶ ビデオデッキの操作は、ビデオデッキの取扱説明書をご参照ください。

3 TransCube をビデオモードに切り替える

4 ビデオデッキの出力が表示できるようにテレビのチャンネルを切り替える

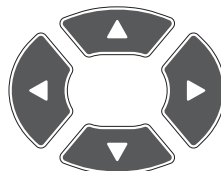
5 ビデオデッキにビデオテープをセットし、録画できる状態にし、一時停止で待機しておく

6 [ライブラリ] ボタンを押して、録画したタイトルの一覧を表示する



ライブラリ リモコン

7 方向キーを押して、ダビングしたいタイトルを選択する



リモコン

8

ビデオデッキの録画を開始する

9

方向キーの[決定]ボタン、または[再生]ボタンを押してタイトルを再生する



リモコン



再生

リモコン

注意

OSD 表示がされている場合、OSD 表示も外部出力端子に出力され、録画されてしまいます。録画実行前に OSD 表示を OFF にしてください。

ワンポイント

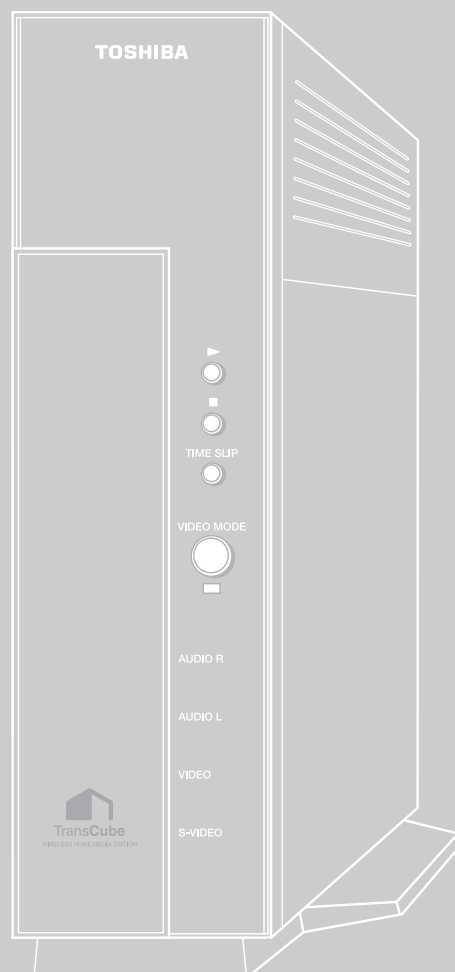
LIVE MEDIA for TransCube を利用して TransCube のデータをパソコンに取り込むこともできます。取り込んだデータは、DVD-R/RW や DVD-RAM、DVD+RW といった DVD メディアに記録したり、あるいは CD-R などに記録するなどの方法でバックアップしてください。

参照

タイトルをパソコンにコピーする LIVE MEDIA for TransCube リファレンスマニュアル・116 ページ

LAN の設定

無線 LAN についてのご注意.....	54
無線 LAN について	55
無線 LAN ネットワークの種類	56
Windows XP での無線 LAN の設定	58
Windows Me での無線 LAN の設定	63
有線 LAN 接続でのハブへの接続	70



無線 LAN についてのご注意

本製品を日本でお使いの場合のご注意

日本では、本製品を第二世代小電力データ通信システムに位置付けており、その使用周波数帯は 2,400 MHz ~ 2,483.5 MHz です。この周波数帯は、移動体識別装置(移動体識別用構内無線局及び移動体識別用特定小電力無線局) の使用周波数帯 2,427 MHz ~ 2,470.75 MHz と重複しています。

1. ステッカー

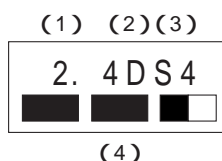
本製品を日本国内にてご使用の際には、本製品に同梱されている以下のステッカーを本体に貼付ください。

この機器の使用周波数帯は 2.4 GHz 帯です。この周波数では電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用されている免許を要する移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等(以下「他の無線局」と略す) が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかにこの機器の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、又は機器の運用を停止(電波の発射を停止) してください。
3. その他、電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、東芝 PC ダイアルへお問い合わせください。

2. 現品表示

本製品の梱包箱および同梱の無線 LAN カードには、以下に示す現品表示が記載されています。



- (1) 2.4 : 2,400 MHz 帯を使用する無線設備を表す。
- (2) DS : 変調方式が DS-SS 方式であることを示す。
- (3) 4 : 想定される干渉距離が 40 m 以下であることを示す。
- (4) ■ ■ ■ □ : 2,400 MHz ~ 2,483.5 MHz の全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する。

TransCube 本体にはこの表示は記載されていませんが、内部の部品には記載されています(ただし分解して確認することは、故障の原因となりますので絶対にしないでください)。

3. 東芝 PC ダイアル

受付時間 / 9:00 ~ 19:00 (祝日、12/31 ~ 1/3 を除く)

ナビダイヤル 0570-00-3100

無線 LAN について

TransCube には、無線 LAN が内蔵されています。また、無線 LAN PC カードが 1 枚付属しています。

無線 LAN の特徴

本製品と無線 LAN PC カードは、次のような機能をサポートしています。

- ・転送レート自動選択機能。11、5.5、2、1 Mbps の転送レートから選択可能。
- ・周波数チャネル選択(2.4GHz 帯)
- ・マルチチャネル間のローミング
- ・パワーマネージメント
- ・IEEE802.11 規格で規定されている RC4 暗号化アルゴリズムに基づいたデータ暗号化(WEP)

無線 LAN の種類

本無線 LAN は、IEEE802.11b に準拠する無線ネットワークです。無線 LAN は最大 11 Mbps の転送レートをサポートしています。

「直接拡散方式」(Direct Sequence Spread Spectrum, DSSS)を採用し、IEEE802.11b に準拠する他社の無線 LAN システムと完全な互換性を持っています。

無線 LAN を使用するとき

無線 LAN の無線とアンテナは、障害物が少なく見通しのきく場所で最も良好に動作します。無線通信のレンジを最大限にするには、本や分厚い紙の束などの障害物で本体を覆わないようにしてください。また、パソコンとの間を金属板などで遮蔽したり、TransCube の周囲を金属製のケースなどで覆わないようにしてください。

無線 LAN ネットワークとは

無線 LAN は、一般的な有線ネットワークと同等の機能がありながら、ケーブルを必要としません。また、無線 LAN では、LAN に接続したまま無線ネットワーク内を移動(ローミング)できます。無線 LAN では、無線通信のエリア内であればあらゆる場所からコンピュータを LAN システムに接続できます。無線 LAN アクセスポイントを追加または再配置し、新しい無線 LAN コンピュータを起動すれば完了ですので、ネットワークの拡張や再構築も簡単です。

注意

無線 LAN は無線製品です。各国で適用される無線規制については、巻末の「仕様」をご覧ください。

Windows Me で Client Manager をインストールしている場合は、次の機能を利用できます。

- ・ネットワークへの無線接続の状況を確認する
- ・無線 LAN の設定を表示/ 変更する

無線 LAN のアンテナと設置場所について

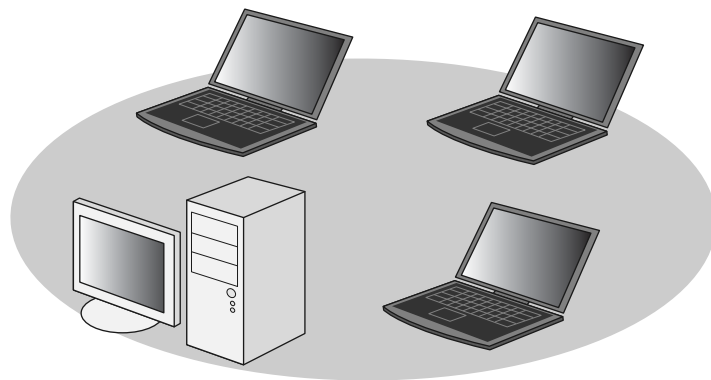
TransCube の内蔵無線 LAN アンテナには指向性のないものを採用しておりますが、TransCube とパソコンの位置関係によっては、通信状態が悪くなったり、パソコンで視聴する画像の質が低下する場合があります。

このような場合、TransCube の向きやパソコンを使用する場所を変更することで改善する場合があります。

無線 LAN ネットワークの種類

ピア・ツー・ピアワークグループ

アクセスポイントを持たない環境(Small Office/Home Office(SOHO) など) で一時的なネットワークを構築する方法です。ピア・ツー・ピアワークグループを設定することで、小規模な無線ネットワークを構築できます。ステーション同士が互いの通信範囲内にある場合は、これが最も簡単かつ低コストに無線ネットワークを構築する方法です。このワークグループでは、Microsoft ネットワークでサポートされているような [ファイルとプリンタの共有] などの機能を使用したファイル交換ができます。「アドホックモード」と呼ばれることもあります。

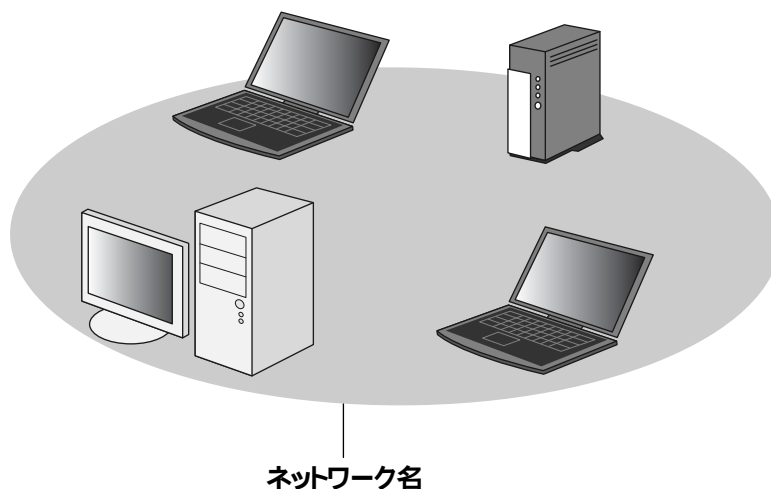


インフラストラクチャネットワーク

無線 LAN アクセスポイントを使用して、バックボーンとなるネットワークに接続し、すべてのネットワーク設備に無線 LAN 機器でアクセスできる方法です。一般的にはインフラストラクチャネットワークを使用します。LAN のバックボーンネットワークは、次のいずれでもかまいません。

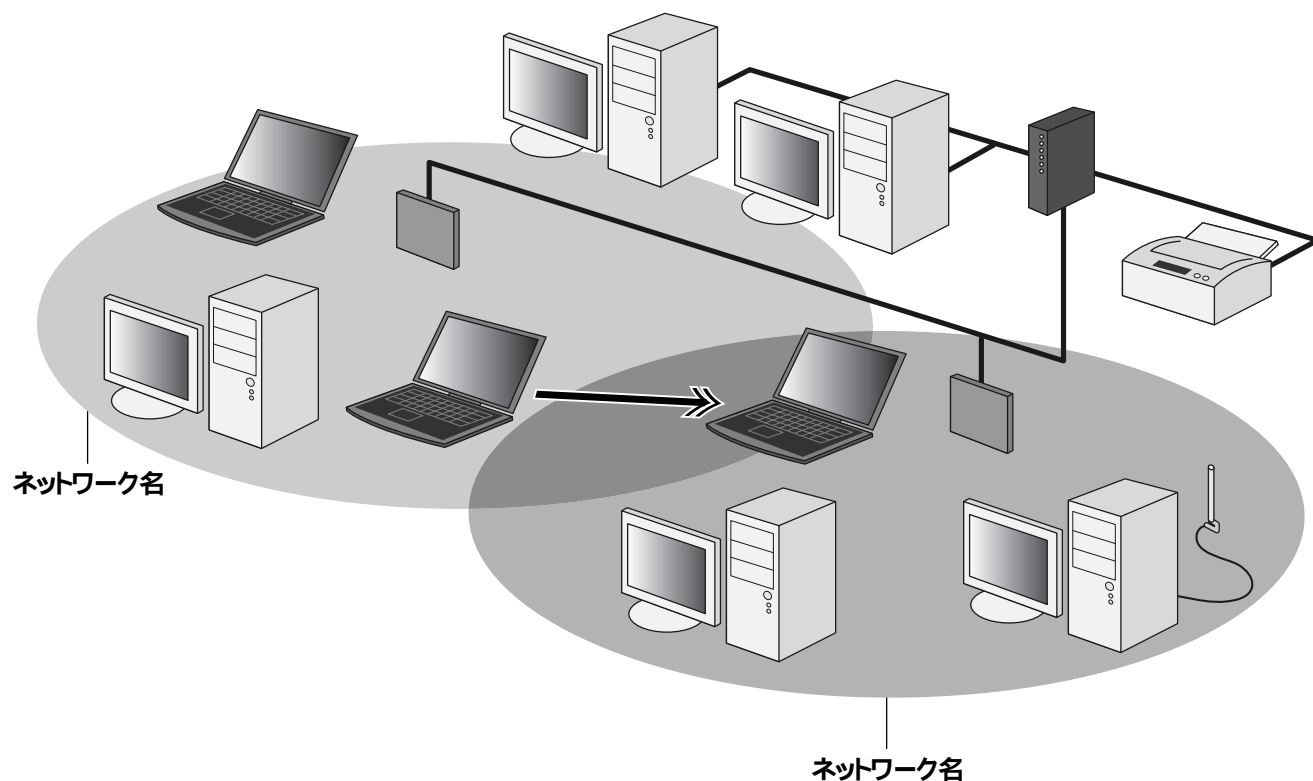
スタンドアロンネットワーク (TransCube 使用時の基本的なネットワーク構成)

無線 LAN アクセスポイントのみで構築したネットワークです。TransCube とパソコンをつなぐ場合の基本的なネットワーク構成となります。この場合、TransCube がアクセスポイントとなります。本取扱説明書では、この形態の設置方法を説明します。



インフラストラクチャネットワーク

無線LANアクセスポイントを既存の有線ネットワークに組み込み、既存の有線ネットワークをバックボーンネットワークとするネットワークです。



ワンポイント

TransCube とパソコンは、TCP/IP 規格で接続します。したがって、TransCube とパソコンをつなぐだけであれば、Windows Network の「ワークグループ」や「ドメイン」の設定は必要ではありません。ただし、Windows パソコン同士でファイルやプリンタの共有を行う場合は、これらの設定が必要となります。

はじめに

テレビ放送を見る

録画済みのタイトルを再生する

テレビ番組を録画する

LANの設定

ルータの設定

Windows XP での無線 LAN の設定

Windows XP で無線 LAN を利用する場合、TransCube での設定を変更した場合などに、Windows XP 側でも設定の変更が必要になる場合があります。

ここでは、「ネットワーク名 (SSID)」、「暗号キー」、「インフラストラクチャネットワークの設定」の 3 つの設定を Windows XP で変更する方法について説明します。

ネットワーク名 (SSID) を設定する

Windows XP の初期設定で無線 LAN を使用する場合、TransCube に設定してあるネットワーク名 (SSID) が自動的に Windows XP にも設定されます。これを手動で設定する場合は、次のように操作します。ここでは、TransCube に設定したネットワーク名を「WBG_Network」(TransCube の初期値)とした場合を例にして説明します。

1 Windows XP を起動する

2 「スタートメニュー」から「コントロールパネル」を選択する

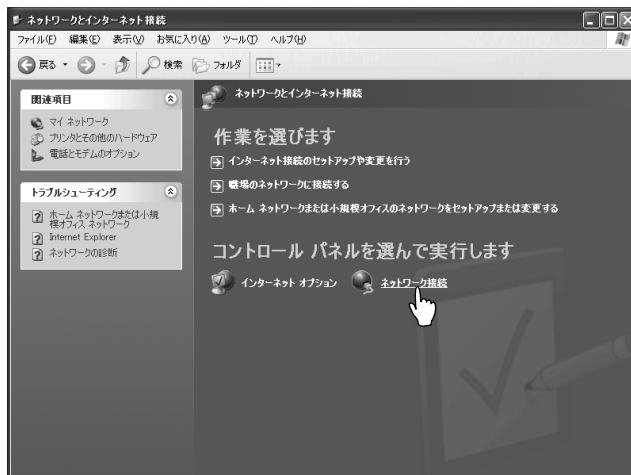


3 「ネットワークとインターネット接続」をクリックする



4

「ネットワーク接続」をクリックする



5

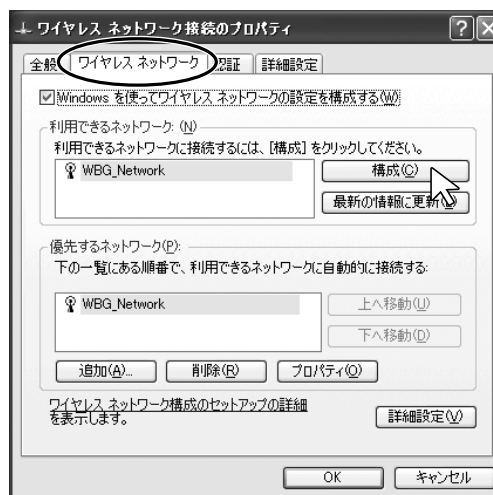
「ワイヤレスネットワーク接続」アイコンを右クリックし、表示されたメニューから「プロパティ」をクリックする



6

「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」ダイアログボックスが表示されるので、「ワイヤレスネットワーク」タブをクリックし、「利用できるネットワーク」にある[構成] ボタンをクリックする

▶ 複数のネットワーク名が表示されているときは、設定対象とするネットワーク名を選択してから [構成] ボタンをクリックしてください。



ワンポイント

このボタンは、ネットワークに接続していないとアクティブになりません。

はじめに

テレビ放送を見る

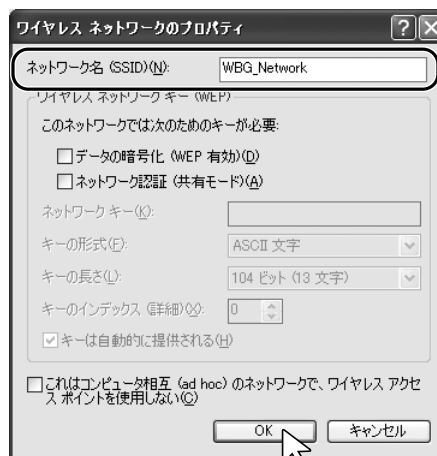
録画済みのタイトルを再生する

テレビ番組を録画する

LANの設定

ルータの設定

- 7 「ネットワーク名 (SSID)」の右にあるテキストボックスに、TransCube に設定したのと同じネットワーク名 (ここでは「WBG_Network」) を入力し、[OK] ボタンをクリックする

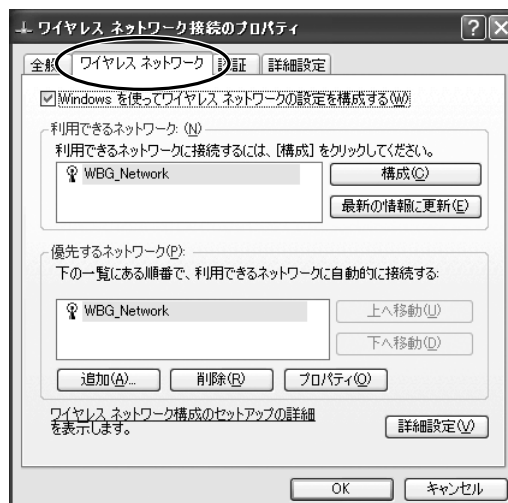


暗号キーを設定する

Windows XP 側に暗号キーを設定する場合は、次のように行います。

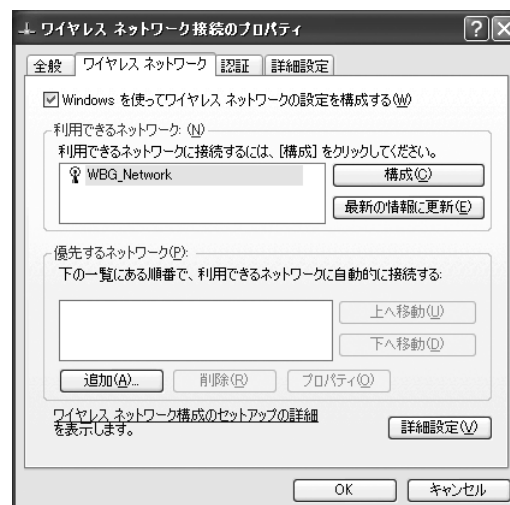
- 1 「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」ダイアログボックスを表示し、「ワイヤレスネットワーク」タブをクリックして設定画面を表示する

▶ 「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」ダイアログボックスを表示する手順は、58 ページをご覧ください。



- 2 「優先するネットワーク」にあるネットワーク名を選択し、[削除] ボタンをクリックして削除する

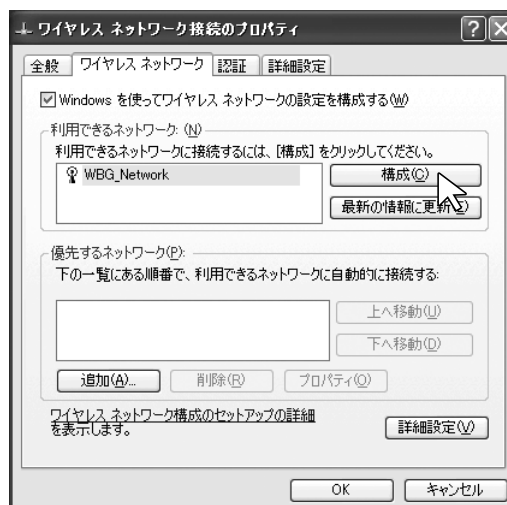
▶ 複数のネットワーク名が表示されているときは、これから暗号キーを設定するネットワーク名を選択して削除してください。



3

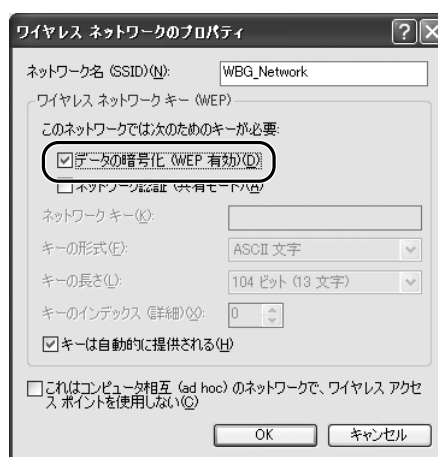
「利用できるネットワーク」にある [構成] ボタンをクリックする

▶ 複数のネットワーク名が表示されているときは、設定対象とするネットワーク名を選択してから [構成] ボタンをクリックしてください。



4

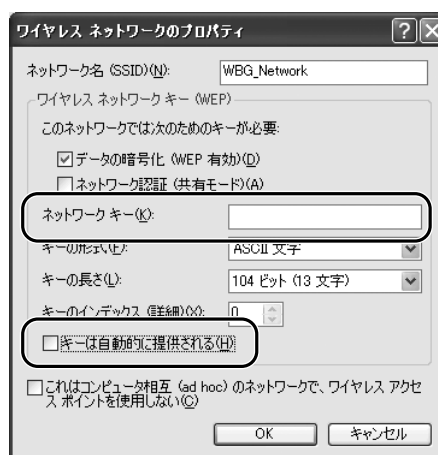
「ワイヤレスネットワークキー (WEP) 」の「データの暗号化」のチェックボックスをクリックして有効にする



5

「キーは自動的に提供される」のチェックボックスのチェックマークをクリックして無効にし、「ネットワークキー」のテキストボックスにTransCubeに設定したものと同一キーを入力する

▶ 「キーの形式」「キーの長さ」「キーのインデックス (詳細)」がTransCubeに設定したものと異なる場合は、まずこれらの値をTransCubeと同じものにしてください。



6

[OK] ボタンをクリックする

はじめに

テレビ放送を見る

録画済みのタイトルを再生する

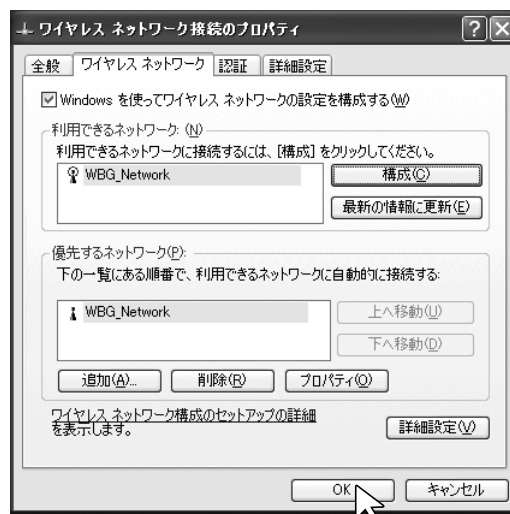
テレビ番組を録画する

LANの設定

ルータの設定

7 「優先するネットワーク」に、暗号キーを設定したネットワーク名が表示されるので、確認して [OK] ボタンをクリックする

▶ 複数のネットワーク名がある場合は、優先的に使用したいネットワーク名を選択して [上へ移動] ボタンをクリックし、リストの一番上に移動してください。



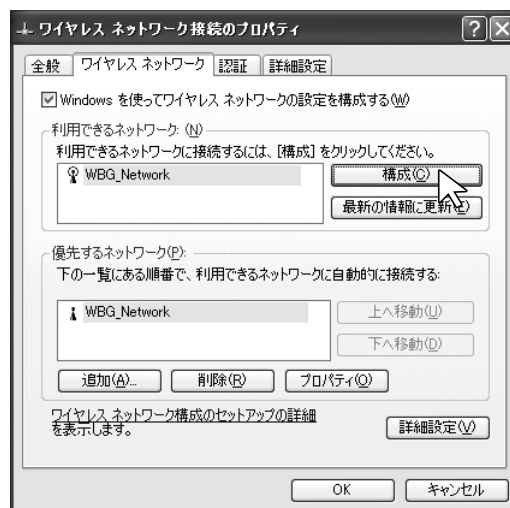
パソコンを「インフラストラクチャネットワーク」に設定する

TransCube のようなアクセスポイントを利用せず、パソコン同士でピア・ツー・ピア接続を行うには、それぞれのパソコンを「ad hoc」に設定します。逆に TransCube のようなアクセスポイントを利用するには、「ad hoc」の設定を解除します。

1 「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」ダイアログボックスを表示して「ワイヤレスネットワーク」タブをクリックして設定画面を表示し、「利用できるネットワーク」にある [構成] ボタンをクリックする

▶ 「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」ダイアログボックスを表示する手順は、58 ページをご覧ください。

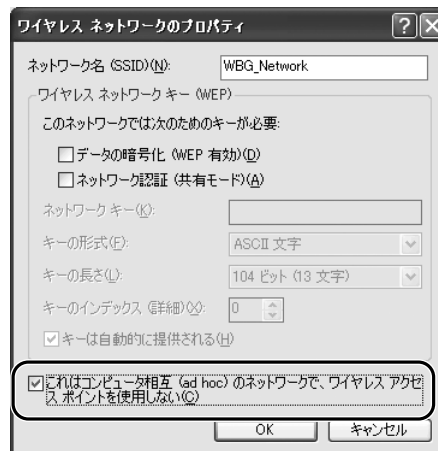
▶ 複数のネットワーク名が表示されているときは、設定対象とするネットワーク名を選択してから [構成] ボタンをクリックしてください。



2 画面の一番下にある「これはコンピュータ相互 (ad hoc) のネットワークで、ワイヤレス アクセスポイントを使用しない」のチェックボックスを、目的に合わせて有効または無効にする

▶ 「インフラストラクチャネットワーク」にする場合は、チェックを外して無効にしてください。

▶ 「ピア・ツー・ピア」にする場合は、チェックを入れて有効にしてください。



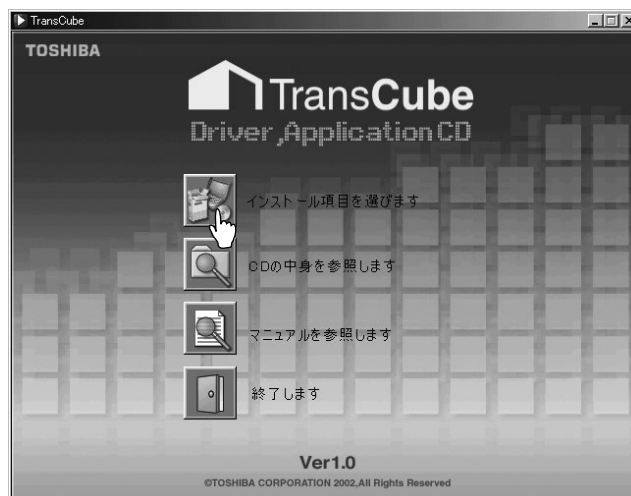
3 [OK] ボタンをクリックする

Windows Me での無線 LAN の設定

本製品付属の無線 LAN カードを Windows Me で利用する場合は、ユーティリティプログラムのインストールと LAN カードのドライバのインストール、そして、アクセスポイントの設定という 3 つの作業が必要になります。

ワイヤレス LAN ユーティリティのインストール

- 1 パソコンを起動する
- 2 CD-ROM ドライブに、本製品付属の「TransCube Driver, Application CD」CD-ROM をセットする
- 3 「TransCube Driver, Application CD」ダイアログボックスが自動的に表示されるので、「インストール項目を選びます」ボタンをクリックする

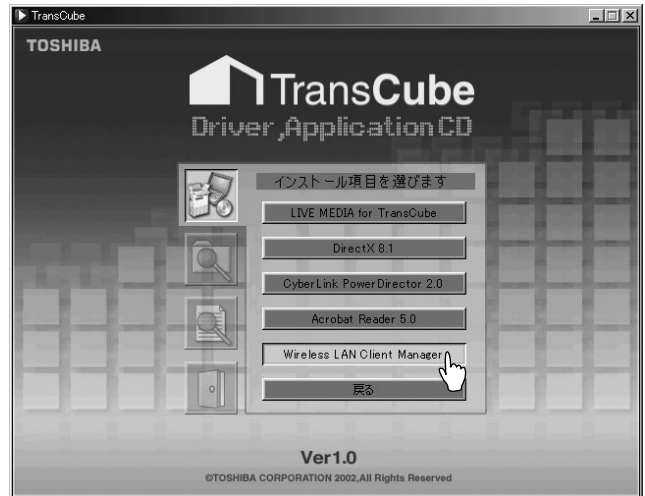


ワンポイント

「TransCube Driver, Application CD」ダイアログボックスが自動的に表示されない場合は、[スタート] [ファイル名を指定して実行] を選択し、CD-ROM ドライブにある「TrnsCube.exe」を実行してください。

たとえば CD-ROM ドライブが D ドライブの場合、「ファイル名を指定して実行」ダイアログボックスの「名前」欄に「D:¥TrnsCube.exe」と入力し、[OK] ボタンをクリックします。

4 インストールメニューが表示されるので、「ワイヤレス LAN ユティリティ」ボタンをクリックする



5 「Client Manager Setup」ウィザードが起動するので、[次へ] ボタンをクリックする



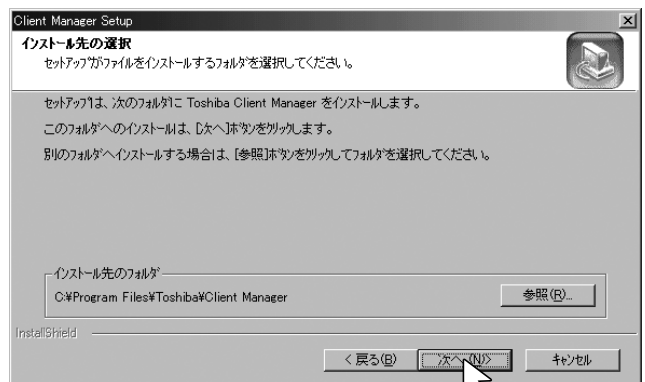
6 「使用許諾契約」が表示されるので、内容を確認して [はい] ボタンをクリックする
▶ [いいえ] ボタンをクリックすると、インストールは中止されます。



7 インストール先を指定する画面が表示されるので、[次へ] ボタンをクリックする

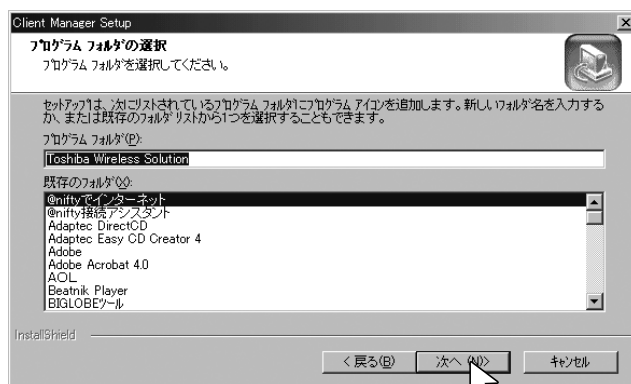
▶ 初期設定では、ドライブ C にある [Program Files] フォルダの下に、[Toshiba] [Client Manager] というフォルダを作成し、そこにインストールします。

▶ 保存先フォルダを変更したい場合は、[参照] ボタンをクリックしてフォルダを選択してください。

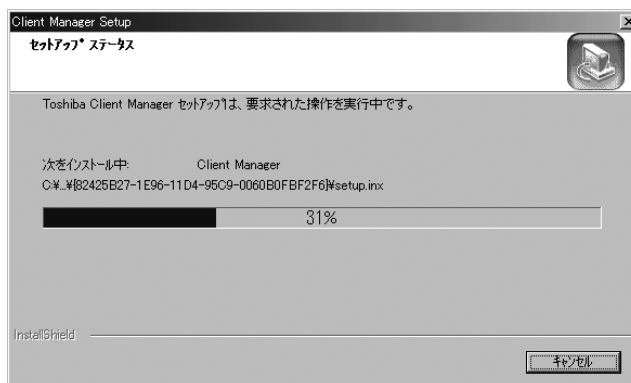


8 プログラムフォルダの選択画面が表示されるので、[次へ] ボタンをクリックする

▶ とくに不都合のない限り、初期設定のままでもお使いください。



9 プログラムのコピーが開始される



10 プログラムのコピーが終了すると再びメニュー画面が表示されるので、「戻る」ボタンをクリックする

▶ CD-ROMはドライブにセットしたままにししてください。そのまま次の無線LANカードのドライバのインストール作業に進みます。



はじめに

テレビ放送を見る

録画済みのタイトルを再生する

テレビ番組を録画する

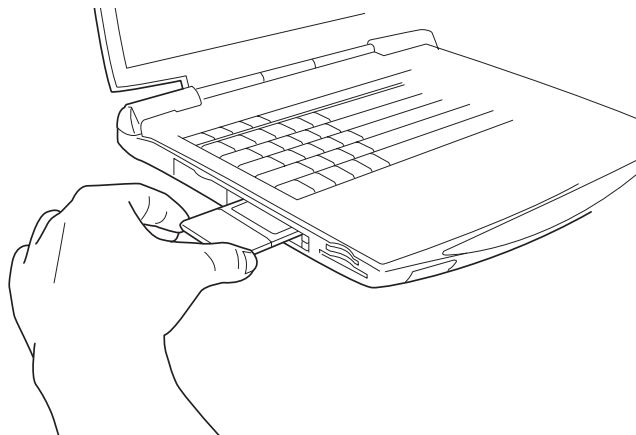
LANの設定

ルータの設定

無線 LAN カードのドライバのインストール

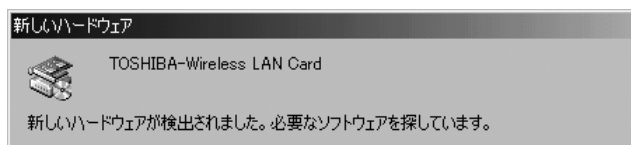
1 パソコンのカードスロットに、付属の無線 LAN カードをセットする

▶ 取付方法は、ご使用のパソコンの取扱説明書をご覧ください。



2 「新しいハードウェア」ダイアログボックスが表示される

▶ 無線 LAN カードが新しいハードウェアとして認識されたことを意味しています。



3 「新しいハードウェアの追加」ウィザードが起動するので、「ドライバの場所を指定する」を選択し、[次へ] ボタンをクリックする



4 「検索場所の指定」を選択し、[参照] ボタンをクリックする

▶ 「リムーバブルメディア(フロッピー、CD-ROM など)」のチェックボックスはオフにしておいてください(チェックボックスをクリックし、チェックマークを外す)。ここがオンの状態では、正常にドライバを組み込めません。



5 CD-ROMの [Driver] [W-Lan] [WinMe] [Driver] フォルダを選択して [OK] ボタンをクリックする

▶ CD-ROM ドライブを選択し、その中から [Driver] [W-Lan] [WinMe] [Driver] とフォルダを選択します。



6 ウィザード画面に戻るので、検索指定場所を確認して [次へ] ボタンをクリックする

▶ たとえば、CD-ROM ドライブがEドライブの場合は [E:\Driver\W-Lan\WinMe\Driver] となります。



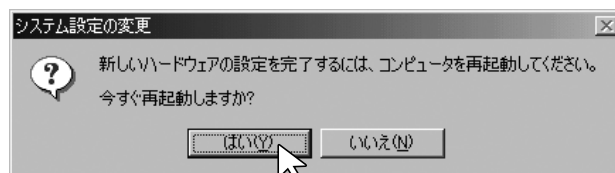
7 [次へ] ボタンをクリックする



8 ドライバの組み込みが終了したら、[完了] ボタンをクリックする



9 コンピュータを再起動するようにメッセージが表示されるので、[はい] ボタンをクリックする



はじめに

テレビ放送を見る

録画済みのタイトルを再生する

テレビ番組を録画する

LANの設定

ルータの設定

パソコンから接続するアクセスポイントの設定

- 1 無線 LAN カードのセットアップ後にパソコンを再起動するとエラーメッセージが表示されるので、[OK] ボタンをクリックする

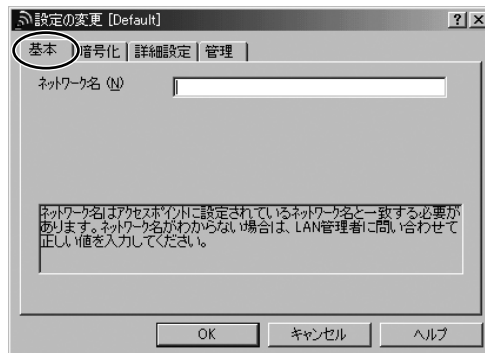


- 2 「プロファイルの設定」ダイアログボックスが表示されるので、[設定] ボタンをクリックする

▶ 右側のリストボックスの中が「アクセスポイント」になっている状態が、「インフラストラクチャネットワーク」の設定です。違う設定になっているときは「アクセスポイント」を選択してください。



- 3 「設定の変更」ダイアログボックスが表示されるので、「基本」タブをクリックする



- 4 「ネットワーク名」を入力し、[OK] ボタンをクリックする

▶ ネットワーク名は「WBG_Network」と入力してください。大文字と小文字は区別されますので、このとおり正確に入力してください。間違えると TransCube に接続できません。

▶ 「WBG_Network」は TransCube の初期設定値です。

▶ 「ネットワーク名」は「ESSID」「SSID」と呼ばれることもあります。

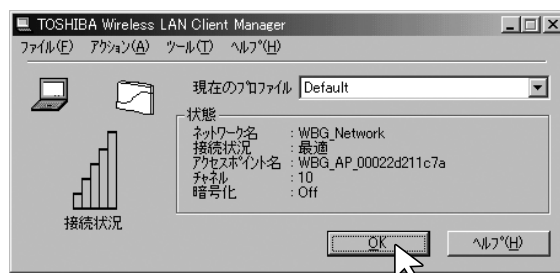


- 5 [OK] ボタンをクリックする



接続の確認

- 1 パソコンを再起動する
- 2 タスクトレイに接続を示すマークが表示されるので、マークをダブルクリックする
- 3 接続状況が表示されるので、内容を確認して [OK] ボタンをクリックする



はじめに

テレビ放送を見る

録画済みのタイトルを再生する

テレビ番組を録画する

LANの設定

ルータの設定

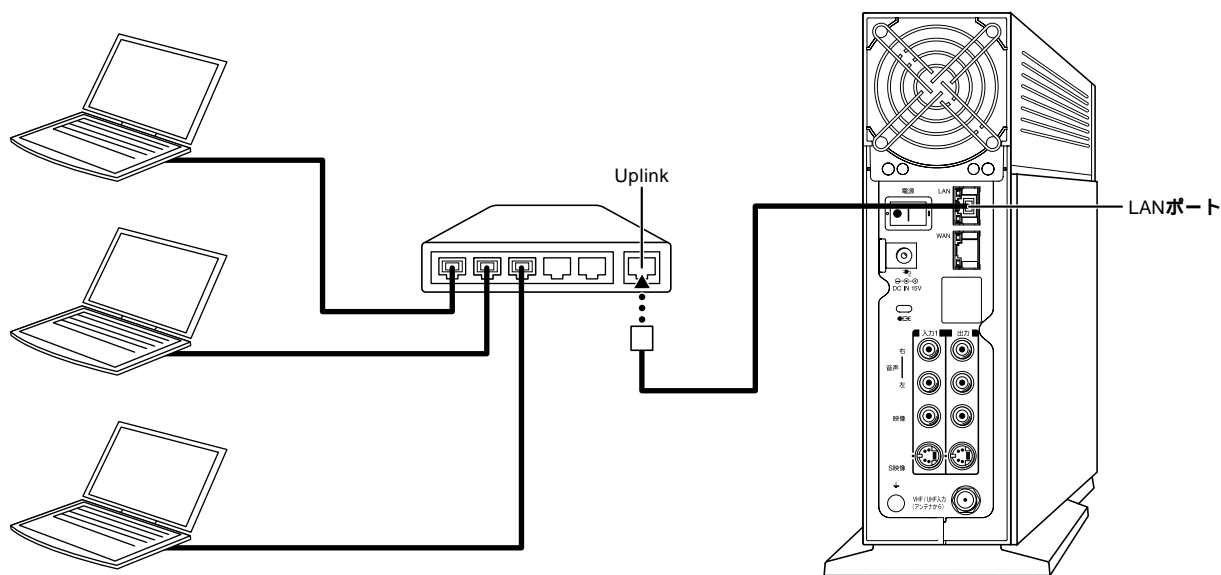
有線 LAN 接続でのハブへの接続

2 台以上のパソコンを LAN ケーブルで TransCube と接続する場合は、市販のハブを利用します。

1 TransCube の LAN ポートとハブの「uplink」(アップリンク) ポートを、LAN ストレートケーブルで接続する

- ▶ uplink ポート (またはカスケードポート) については、ハブの取扱説明書をご覧ください。
- ▶ TransCube の LAN ポートとハブの uplink 以外の LAN ポートを接続する場合は、市販の LAN クロスケーブルを使用します。

2 パソコンの LAN ポートとハブの LAN ポートを、別の LAN ストレートケーブルで接続する



注意

- ・プロバイダによって、インターネットに接続できるパソコンの台数が制限されている場合があります。詳しくはご契約のプロバイダにお問い合わせください。
- ・LAN ケーブルは 100 m 以内の長さのものを使用してください。

ワンポイント

・ハブの規格について

LAN インタフェースを 100BASE-TX 規格 (100Mbps) で使用するときは、100BASE-TX 対応のハブをご利用ください。

・LAN ケーブルの規格について

LAN インタフェースを 100BASE-TX 規格 (100Mbps) で使用するときは、必ずカテゴリ 5 (CAT5) の LAN ケーブルおよびコネクタを使用してください。カテゴリ 3 のケーブルは使用できません。

10BASE-T 規格 (10Mbps) で使用するときは、カテゴリ 3 またはカテゴリ 5 の LAN ケーブルが使用できます。

カテゴリとは、ネットワークで使用される LAN ケーブルの種類を分類したものです。種類はカテゴリ 1 ~ 5 まであり、数字が大きいほど品質が高くなります。